



韓国岳から大浪池を望む

CONTENTS

さめしま NEWS	2	栄養科だより.....	9
委員会だより.....	6	Dr.T のよもやま話	11
医療安全だより.....	8	編集後記.....	12

病院理念

- 1 患者中心の医療
- 2 専門性の推進
- 3 健全な運営

基本方針

大腸肛門・消化器疾患専門病院として、患者とともにより高い診療の質をめざします。

- 1 倫理規定を遵守し、患者の権利を尊重して信頼関係に基づいた医療を行います。
- 2 常に新しい医療を安全に追及し、明るい病院づくりをめざします。
- 3 他医療機関や社会との連携を推進し、地域の健康と福祉の向上に貢献します。
- 4 職員が働きがい・やりがいを持てる職場をめざします。
- 5 将来にわたり安定した医療サービスを提供するために、健全な運営を行います。

患者の権利と責任

- 1 患者さまには、人格を尊重した思いやりのある優しい医療を受ける権利があります。
- 2 患者さまには、診断・治療・予後について十分な説明を受ける権利があります。その上で治療方針を決める権利を持っています。
- 3 患者さまには、検査の結果や治療法の説明に対して、他の医師・医療機関の意見を受ける権利（セカンドオピニオン）があります。
- 4 患者さまには、個人情報やプライバシーが保護される権利があります。
- 5 患者さまには、最適な医療を受けるためにスタッフと協力して診療に参加する責任があります。



さめしまNEWS 1

毎号旬のトピックスや注目の情報をお届けします

2025 ふれあい看護体験

看護部 古別府美和

8月7日(木)「ふれあい看護体験」を開催しました。毎年職場体験の一環として、院内の見学や医療機器の使用体験、患者さまとのふれあいを通して、命の大切さや仕事について知り、関心をもってもらう目的で行われています。

今回は高校3年生1名、小学6年生2名の3名の方が参加してくれました。年齢差もあり、打ち解けてもらえるかな…と心配でしたが、自己紹介し話をするうちに、徐々に緊張もほぐれていく様子が見られました。そして事前にピンクやブルーなど、カラーの好みを確認していた病院支給の仕事用ポロシャツに着替えてもらい、ネームは首から、アルコール消毒液は腰から下げ、装備完了！少し嬉しそうです。

まずは院内各部署の見学からスタートします。

身障者用トイレや、ストーマ保有者に特化したオストメイトトイレを説明しながら見て回り、栄養士や薬剤師からも、どんなことを普段行っているのかななどを話してもらい、真剣な様子で聞いていました。

次に手術室の見学です。手術室は普段なかなか立ち入る機会も少ないので、皆さん興味津々です。手術室に入りまずは手袋をつけてもらいましたが、慣れない手袋になかなかうまく装着できません。スタッフが手伝いながら手術着も着せてもらい、夏だったこともあり暑そうな様子でした。

この日は(タイミングよく?)手術がなかったこともあり、実際に練習用の腹腔鏡の機械を使って、小さなゴムを掴んでとなりの入れ物に移していくというゲームも行いました。はじめは機械の扱いが難しそうでしたが、すぐに慣れ、あっという間に移しきり嬉しそうでした。スタッフも参戦しましたが普段やりなれない手技に悪戦苦闘しました…。

他にも手術用のベッドにも寝かせてもらい、ベッドを動かしてみたり无影灯をあてたり、患者さまの視界を体験することも出来ました。

AED やストレッチャー・車椅子の使用、心臓マッサージの体験もしてもらいました。

AED は今では商業施設など街中にも設置されているところが増えてきましたが、なかなか実際に触れる機会はないと思います。AED のセッティングをしてもらい、流れでデモスト人形に心臓マッサージも行ってもらいました。力があるハードな処置であることにびっくりしていましたが、コツをつかむのも早く、一生懸命やってくれました。

次々とスケジュールをこなしてくれる皆さんでしたが、疲れていないか体調不良などないか、気を配りながら進めます。

レントゲン室では、レントゲンの仕組みや役割の説明があり、タオルをかぶせて何を映し出しているのかを当てるゲームもしました。徐々に映す面積を増やし、iPad やボールペン、はさみなど、次々に当てていき楽しそうでした。なかなか普段の生活用品をレントゲンで映し出すという機会もないので、スタッフも見入ってしまいました。

その後も昼食時の院内放送、名前を確認しながら配膳のお手伝いなど、盛りだくさんの午前中を過ごしました。



たくさん動いた後はお待ちかねの昼食！ 栄養士スタッフが心を込めて作ってくださった手作り弁当です。肉巻きやいなりずしにから揚げ、デザートには七夕をイメージしたゼリーなど、お腹もすいていたこともあり皆さんあっという間に食べきり大好評でした。

疲れていないか心配しましたが、休憩中は持参した宿題をこなしたり、お菓子を交換したりリラックスした様子も見られたので良かったです。

午後は、あらかじめご協力をお願いしていた患者さまのもとへ出向き、検温体験をさせていただきました。前もって血圧計や体温計の取り扱いを教え、患者さまに体調をうかがいながら上手に血圧計を巻いて血圧を測り体温を確認し、記録していきます。会話をしながら手を動かすというのは難しかったと思います。さすがに緊張の面持ちでしたが、患者さまは笑顔で答えてくださいました。快くご協力を頂きました患者さま、ありがとうございました！

最後に感想文を書いてもらいましたが、感想文記入も集中して一気に一生懸命書いてくれたことがスタッフとしても嬉しかったです。感想文も載せていますのでぜひご覧になってください。

あっという間の一日でしたが、スタッフを含め、皆さんの経験の一つとして心に残ってくれたら嬉しいなあと思います。関係各所のご協力を頂いた皆さま、ありがとうございました。

Wさん(高3)

今日はふれあい看護体験に参加させてくださりありがとうございました。

ふれあい看護に初めて参加したので心配でしたが、鮫島病院の人たちは優しく、分からないことがあれば教えてくださいましたので、私も安心してすることができました。小学生2人と高校生である私1人ということで、私がしっかりしないとと思っていたのですが、私より小学生2人の方がしっかりしていて、いろいろ気づかされました。



最初は院内を見て回り、様々なところがあるのだなと思いました。病院に行ったことはありますが、部屋がたくさんある中で、ここがどのような役割を持っているのかをあまり考えたことがありませんでした。表面的な知識しかなかったので、各部屋の説明をされたときは、こんなものもあるのだと驚きました。その中で印象に残っているのは手術室です。手術の体験をさせてもらったのですが、意外に難しく、両方の手が使えづらかったです。モニター越しで見ると、距離感が分からなくスムーズにできなかつたので、手術する医者の方はすごいと感動しました。AED体験では、力を強く押さえ付けられないといけなかったので疲れました。それを長時間しないといけないので、できるかなと少し心配になりました。配膳体験では、患者さまに食事を渡すのですが、名前が1回で聞けなかつたり渡すのに躊躇してしまったりしました。でもできたので良かったです。昼食は配られたものを食べたのですが、とってもおいしかったです。いなり寿司やからあげが特に美味しいと感じました。検温体験では、実際に患者さまの体温・脈拍・血圧を測ってみましたが、戸惑ってしまいました。事前にやり方を聞いていたのですが、いざ実践となるとなかなかできないものだと実感しました。福祉用具体験は、車いすと救急患者を運ぶものに触れました。こういうものを使うのだと思いました。今日は本当にいろいろなことを学びました。私はもう高校三年生で、進路に向けて本格的に勉強しています。将来は看護師になって様々な病状の人を手助けしたいと考えています。看護師になったら鮫島病院で働いてみたいなと思いました。本当にありがとうございました！！夢へ向かって精一杯頑張ります！

Fさん (小6)

最初は院内を探検して、薬局の事や色々なことをていねいに説明してくれて、オペ室（手術室）も特別に入らせてくれて、とてもうれしかったです。オペ室に入ると、映画などで見たものとはちがって、とても迫力がありました。手術の時に着るふくも着られて、実際に手術台にも寝させてくれて、初めてできんちょうしたけれど、やってみたらとても楽しかったし、とても勉強になりました。私が一番うれしかったのが、患者さまの検温や脈拍、血圧を測らせてくれたことです。このようなことは滅多にない経験だったので、とてもうれしかったです。検温の時は、色々アドバイスもくれたし、脈拍の測り方も教えてくれて、とてもうれしかったです。お弁当も、からあげや肉巻き、おいなりさんもとてもおいしくて、特に七夕ゼリーがおいしかったです。ナース服を着てみて最初に思ったのが「動きづらい」「歩きづらい」でした。ぼうしもかぶったけれど、ピンがささりそうで怖かったです。



鮫島病院のみなさんへ

本日は本当にありがとうございました！薬局などの人やオペ室の人達には感謝でしかありません！協力してくれた患者さまも、ありがとうございました！

Uさん (小6)

今日は看護体験ができてとても楽しかったです。

最初は院内を回って、どこに何があるかなどの確認・紹介がありました。とてもたくさんのものであったので、とてもすごいなと思いました。次に、オペ室に行きました。私は医師になりたいので、とてもワクワクしていました。オペ室にはベッドとたくさんの道具などがありました。手術する方は、



とても緊張されるので、かべ・ゆかは緑色にして安心できるように、落ち着いた色のかべ・ゆかでした。その次は、栄養士さんのところに行きました。ここでは、患者さまのごはん・職員の昼食などを作っている場所です。この栄養士さんには、私たちの昼ご飯を作ってもらいました。からあげ・ポテトサラダ・たまごやき・いなり・ブロッコリー・肉巻きなどが入っていました。その味はとてもおいしかったです。そして午後には、患者さまの所に行って、実際に体温／脈・血圧などを測りました。体温を測っているときに、体調などを聞いたら良いと教わりました。次にストレッチャーを行いました。曲がり角などが難しかったです。でも緊急の時使うのだなと思いました。最初はナースの服を着せてもらいました。昔のナース服を着て、動きにくかったけれど、とてもかわいかったです。着られて良かったです。今日一日とても楽しかったです。ありがとうございました。また機会があったら来たいです。

防災訓練に参加して

看護師 末永えり子

12月に初めて当院の避難訓練に参加しました。外来部署では院内放送がかかった後に診察室・待合室・1階トイレ・売店・ピヨピヨ（保育室）に取り残された人がいないかを確認して避難行動をとりました。

消防隊からの講話では消火器を取り扱う際の注意点として

- ・消火器を使用する際は噴霧によって視界が遮られるため、自分の避難経路を確保した上で使用すること
- ・火災が天井まで上がった際は消火器での初期消火は困難なことを教えていただきました。

消防法で年2回以上の避難訓練の実施が義務付けられていて、それを違反すると法律違反となるそうです。

近年では自然災害も各地で多く、季節柄乾燥する時期になり火災のニュースも多く見られます。法令遵守とともに日頃からの備えとして、災害における避難時に患者さんを安全に誘導・搬送できるように院内の流れを理解し、心構えをしておこうと改めて思いました。



現場の声を力に、働きやすい職場を創る —業務改善委員会の1年間の歩みと展望—

業務改善委員会 委員長 江藤忠明

1. はじめに：業務改善委員会の設置目的

当委員会は、作業効率を高め、職員間のコミュニケーションを円滑にすることで、私たちの労働環境をより良くすることを目的に設置されました。2024年10月の発足から1年、外部コンサルタントの助言をもらいながら手探りの中ではありましたが、各部署の委員が現場の課題を持ち寄り、部署を超えた協力ができるよう努力してまいりました。本稿では、この1年間の活動の成果と見えてきた課題、そして来期に向けた方針についてご報告いたします。

2. 今年度の主な活動内容：仕組みづくりと効率化の推進

今年度はまず、委員会そのものの運営ルールを整え、継続的に改善が行われる土壌づくりに注力し、個々の問題を部署間の垣根を越えて議論しました。

- 会議運営の刷新：報告事項は事前に議事録で確認する形とし、会議当日はグループワークを中心とした議論の場へとシフトしました。司会・書記を交代制にし、タイムキーパーを導入することで、限られた時間で最大限の成果が出せるよう工夫しています。
- デジタル化の推進：従来の紙によるアンケートを Google フォーム等の Web アンケートに移行しました。これにより、委員や現場の声の収集と分析が容易になり、よりスピーディーな現状把握が可能となりました。また鮫島ネット上で勉強会の案内やアンケートが完結できるようになりました。
- 具体的な活動実績：2024年アンケート分析と対応、アンガーマネジメント研修の提案、お花見会の実施、肛門科の術前検査の事前チェック体制、術前説明の男女分け、タバコ持ち込みの防止、検査日の自家用車来院の抑制、EMR 施行から入院までの時間短縮やパス説明の病棟移管、入院指示漏れや診療科誤りの抑制、栄養指導予約の効率化、ほか多岐にわたります。

3. 活動の成果とアンケートから見えた現状

10月に実施した委員向けのアンケートでは、多くの前向きな意見も報告されています。

- 部署ごとの改善と連携：委員が現場の声を委員会に届けたことで、各部署の業務改善に一定の成果が見られました。特に他部署との積極的な意見交換が行われたことは、大きな一歩です。

- 多角的な分析：栄養科の活動報告などでは、外部コンサルタントの介入による客観的な分析や、ポジティブな思考による改善が高く評価されました。
- コミュニケーションの向上：部署間の意見交換や業務の移管・見直し、なぜなぜ分析、会議運営の工夫を通じて、コミュニケーションが向上したという意見も得られました。

現場の声を反映した改善案や他部署との連携が強化されたことに、委員会の存在意義が強く感じられます。

4. 浮き彫りになった課題：さらなる改善へのハードル

一方で、活動を継続する中での課題も明確になりました。アンケートでは、「報告の時間が増え、肝心の話し合いの時間が減ってしまった」という意見や、部署間での活動に対する温度差、協力姿勢のばらつきが指摘されています。また、議論の難しさから発言を控えてしまう場面もあり、より活発に意見を出し合える環境づくりが必要です。その他、自部署内での取り組みの共有や、人数の多い部署における意見のまとめ方など、運用面での難しさを感じる声も寄せられました。

5. 新病院始動に向けた方針：笑顔で働ける理想の病院を目指して

これらの課題を受け、次年度はより「実効性」と「一体感」のある活動を目指します。

- 方針の明確化と体制強化：院長のご指導の下、病院の理念・目標をより明確にし、職員が一体となって取り組む環境を作ります。また、業務内容そのものの見直しをさらに深め、成果発表の機会を創出することで、活動の認知度とモチベーションを高めます。
- 心理的安全性の高い職場づくり：部署の垣根を取り除き、互いに意見を伝え合い、認め合える職場を目指します。ハラスメントのない、笑顔で働ける病院づくりは、私たちの活動の大きな理想像です。
- 現場へのフィードバック強化：年度末には全職員に向けたアンケートを実施し次年度の活動に活かします。そしてより広く意見を集める工夫を行い、活動の意義や実績を継続的に発信することで、全職員の協力を促します。

6. おわりに

この一年間、多忙な業務の合間を縫って委員会活動に尽力してくださった委員の皆様、そして活動を支えてくださった職員の皆様に心より感謝申し上げます。

業務改善は終わりのない道のりですが、一人ひとりが「やりがい」を感じながらいきいきと活動できる職場を創るために、部署間の摩擦を減らし円滑に仕事が進められるよう「CMCゼリー」の様な役割を果たしながら、新病院となる来期に向けて一歩ずつ前進してまいります。皆様のさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

患者さまとスタッフが、ともに安心して治療に専念できる医療環境を目指して

医療安全だより

入院中は転倒しやすい・・・？

医療安全管理室室長 錦戸美香

入院生活は、住み慣れたご自宅と環境が大きく異なるため、誰もが転びやすくなります。

例えば…

- ・病気による体力や運動機能の低下がある
- ・ほんの1日寝ていた（安静にする）だけでも、思いがけず筋力が低下している
- ・点滴や、身体に管が入っていると、動きづらくなる
- ・薬によっては、ふらつきが生じるものもある

これらのことから、誰もが転びやすい状態になります。

当院ではさまざまな転倒転落を防止するための対応をしています。

1. 適切なはきものの使用

入院生活でのはきものは、転びにくい靴タイプのものを準備しましょう。



スリッパやサンダルなどは、かかとが固定されず脱げやすいため、転びやすく危険です。そのため、かかとをおおう運動靴やリハビリシューズ（かかと付き、滑りにくいもの）などが安心です。しかし、かかとが覆われたはきものを準備していても、かかとを踏んで歩くことは危険です。注意しましょう。

2. 周囲の環境を整える

入院中は、ベッドの周囲の整理整頓に心がけ、医療機器のコードなどが障害物にならないようにしましょう。

3. 望ましいベッドの高さ調整

ベッドの高さは、ベッドの横に座った状態であしが床につく高さにしましょう。あしがしっかりと床について、膝の角度が90度になる姿勢が、体重移動しやすく、安定して立ち上がることができます。

【当院での転倒事故のケース】

- ・スリッパでトイレに行こうとしたら、滑って転倒。膝をついて、打撲した。（89歳 女性）
- ・スリッパが引っかかってしまいシャワー室の前で転倒した。入院中3回。（67歳 男性）
- ・病室の洗面所にスリッパで行ったら、バランスを崩しその場に尻もちをつくように転倒した。（62歳 女性）
- ・運動靴をしっかりと履いておらず、歩行しながらはこうしたら転倒した。（78歳 男性）
- ・物音がして訪室すると、入口近くの床に仰向けで倒れていた。→左大腿骨頸部骨折の診断。（74歳 女性）
- ・階段を2段踏み外し、転倒した。→肋骨骨折の診断。（53歳 女性）
- ・トイレへの歩行時に入口のドアをつかんだところ、ドアが動いてしまい、そのまま転倒した。→右大腿骨頸部骨折の診断。（91歳 女性）

☆安全な入院生活を送ることができるよう、ご協力をお願い致します。

ご心配なことや不安なことがありましたら、いつでも医師や看護師に声かけください。



毎日の健康は食事から

栄養科 だより



冬でも油断しないで ～隠れ脱水～

管理栄養士 畑本恵美

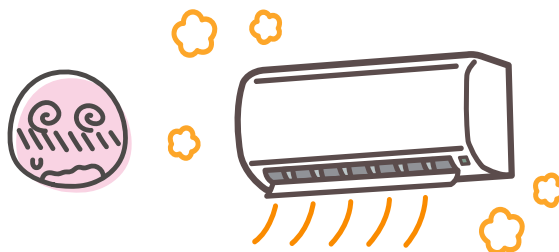
「脱水」というと、夏の暑い時期を思い浮かべる方が多いかもしれませんが。実は冬でも、脱水（隠れ脱水）は起こります。気付かないうちに体の水分が失われ、自覚のないまま脱水状態になってしまうことを「隠れ脱水」といいます。

■冬に脱水が起こりやすい理由

冬は汗をかきにくく、喉の渇きも感じにくいため、水分摂取量が少なくなりがちです。一方、体の中では次のような理由で水分が失われています。

- ・暖房による空気の乾燥
- ・呼吸や皮膚からの水分蒸発
- ・発熱や下痢・嘔吐などの体調不良
- ・食事量の低下

その結果、気付かないうちに脱水状態になってしまいます。



■隠れ脱水セルフチェック

2つ以上当てはまる方は注意が必要です！

- の中や唇が渇く
- 皮膚がかさつき、ハリがない
- 尿の色が濃い、量が少ない
- 何となく体がだるい
- 立ち上がるとふらっとする
- 食事量が減っている

■脱水が体に与える影響

体の水分が不足すると血液の流れが悪くなり、

- ・便秘や食欲不振
- ・めまい、ふらつき
- ・転倒のリスク増加
- ・脳梗塞や心筋梗塞のリスク上昇

などに繋がる可能性があります。

■冬の上手な水分補給のポイント

無理なく続けることが大切です。

①喉が渇く前に飲む

起床時・食前後・入浴前後がおすすめです。

②温かい飲み物を活用

白湯、薄めのお茶、スープや味噌汁でも水分補給になります。

③食事からも水分をとる

煮物、汁物、鍋物、果物などを意識して取り入れましょう。

高齢の方は特に注意！

高齢になると、喉の渇きを感じにくくなります。一度にたくさん飲むのが難しい場合は、少量ずつ回数を分けて飲むことが効果的です。



◎寒い季節だからこそ、冬は体内の水分が奪われやすく、体温維持にも多くの水分が必要です。「喉が渇いていないから大丈夫」ではなく、意識して水分をとることが大切です。また、加湿器を利用した乾燥対策、保湿クリームの使用などで肌の乾燥も防ぎましょう。

医療相談室

患者相談窓口 木下正子

2025年12月2日より、健康保険証が使用できなくなりマイナ保険証または資格確認書を提示していただくこととなりました。

マイナンバーカードを作っていない方、作って5年を経過し有効期限が切れている方には、利用可能な手続きをお願いしております。

厚労省の特別な措置として、2026年3月31日までは健康保険証でも医療を受けられるとなっておりますが、4月からはマイナ保険証が基本となりますので、ご理解のほど、よろしくお願い致します。

手続きの方法や、不安なことがございましたらいつでも気軽にご相談ください。

お知らせ

当院では、患者さまやご家族の方から広くご意見をお伺いするために「意見箱」を設置しています。これまでは設置しております用紙へのご記入のみのご投稿でしたが、下記のQRコードからもご投稿いただけるようになりました。たくさんのご意見をお待ちしています。

引き続き意見箱も設置しています。お気づきの点がございましたら、用紙にご記入いただき意見箱へご投函ください。

◇意見箱設置場所（院内4ヶ所）

- ・ 1F トイレ入り口前のカウンター
- ・ 2F ロッカー横カウンター
- ・ 3F デイルーム横カウンター
- ・ 4F デイルーム横カウンター



(外来用)



(入院用)

鮫島病院 サービス改善委員会



いしよ

相も変わらず寒いです。

温暖化、温暖化と言いながら寒いのです。

なにやら北極海への温暖化の影響が日本に極寒を運んでいるんだとか…

風が吹けば桶屋が儲かる的な… (?_?)

毎朝、朝礼で1分間スピーチをやっています。

今日のスピーチ当番さんのご主人は自衛官。

以前、海外派遣でスーダンに半年近く行っていました。

砂漠地帯のインフラ整備と内紛からの地域住民の警護が任務だったそうです。

出発の時、新妻は臨月を迎えていて、生まれたという知らせは写メ付きメールで遠くスーダンまで送られたそうです。

数日前に彼女が家の整理をしていたとき、偶然に夫から自分宛の手紙を見つけたそうです。

その前日に夫婦喧嘩をしていたので、詫び状かなと思ったそうですが、開けてみるとそれは「遺書」でした。スーダンに出発する前日の日付だったそうです。

「まだ見ぬ子へ」の文字を見たら、涙が止まらなかったそうです。

小隊長の彼は、隊員全員に書かせたんだとか。

そんな大変な思いをして行って（出撃）るんだな…

みんな感動して聞いていました。

なかにはハンカチで目頭を押さえる者もいました。

最後に彼女は言いました。

「だから…だから、生命保険を見直そうと思ってます」(^o^)

「…」(-;-)

		月	火	水	木	金	土	
一般外来	肛門科	午前	鮫島(隆) 吉元 *山元	鮫島(隆) 吉元 *山元	鮫島(隆) *山元	鮫島(隆) 吉元 前田 *山元	鮫島(隆) *山元	不定
		午後	鮫島(隆) 吉元 前田 *鮫島(加)	鮫島(隆) 吉元 *鮫島(加)	*鮫島(加) *山元	鮫島(隆) 吉元 *鮫島(加)	吉元 *鮫島(加) *山元	
	外科	午前	江藤 緒方	(手術日)	緒方 長友	(手術日)	江藤 緒方	不定
		午後	担当医	(手術日)	緒方 長友	(手術日)	江藤 緒方 長友	
	内科胃腸科	午前	西俣 *山下	西俣 *山下 *濱元	西俣	西俣 *濱元	西俣 *山下 *平川	不定
		午後	西俣 *山下	西俣 *山下 *濱元	西俣	西俣 *濱元	西俣 *山下 *平川	

- 緊急手術、学会出張等により、休診になることがあります。必ずご確認の上、ご来院ください。
- *印 は女性医師による外来で予約制です。

		月	火	水	木	金	土
専門外来	肝臓	午前					第3、濱之上
	ストーマ	午後				磯上Ns	

- 肝臓・ストーマ外来は予約制です。

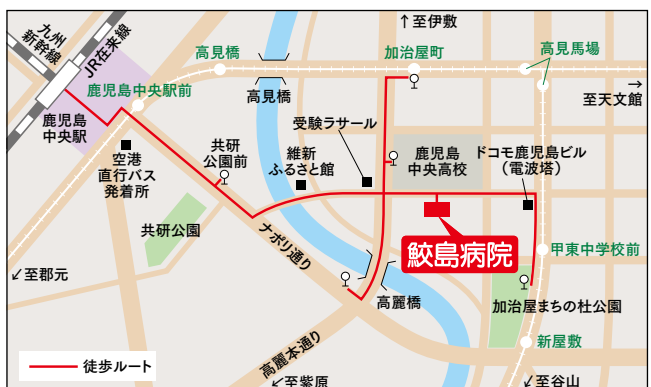
	午前の部(月~土)	午後の部(月~金)
受付時間	8:30~11:30	14:00~17:00
診療時間	8:45~12:30	14:00~17:30
休診	日曜、祝日	

予約受付：平日：9:00~17:00 TEL：099-224-2277

編集後記

新年を迎えてからもう1ヶ月が過ぎました。まだ寒い日が続いていますが、最近は日の出の時間が早くなり春の気配を感じます。朝起きると少し前までは真っ暗だったのに、今は薄明るいなあ…と些細な変化に気がつく「おっ」と思います。朝起きて仕事に行き、帰ってきて、寝る。毎日同じことこの繰り返しでも、些細な季節の変化を感じることで、一日一日を積み重ねていることを実感します。寒さで体が縮こまっていますが、心は縮こまることなく、新入生や新卒職員のような新たなスタートを迎える気持ちで今年も頑張っていきます。

看護部 辻 裕子



J R … 鹿児島中央駅より徒歩15分、タクシー5分
 市 電 … 甲東中学校前、加治屋町電停より徒歩5分
 ♀バス … 甲東中学校前、加治屋町、高麗橋より徒歩5分、共研公園前より徒歩7分、中央高校前より徒歩2分

●編集委員

鮫島由規則 鮫島隆志 大澤宏美
 辻裕子 永手ちとせ

●発行／広報委員会

〒892-0846 鹿児島市加治屋町9-8
 TEL 099-224-2277 FAX 099-222-0130
 E-mail jim@sameshima.jp https://www.sameshima.jp/

携帯からはコチラ

